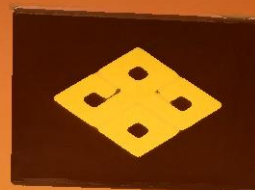


令和5年度 各務原市の決算状況 (わかりやすい決算書)



各務原市制施行 60周年記念式典



はじめに

(注1) 本冊子では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいた決算額を記載しています。
(注2) 本冊子中の説明文は、分かりやすさを重視する観点から表現しています。

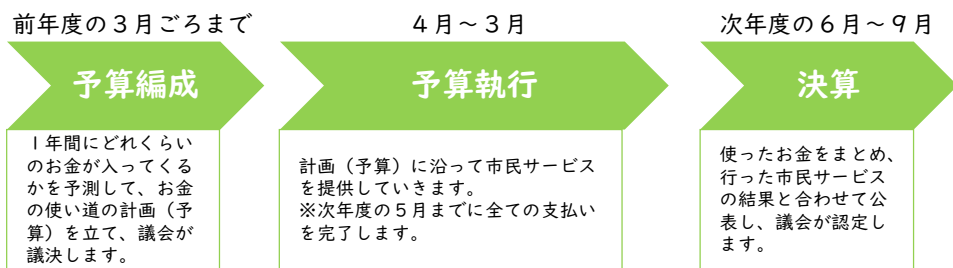
(1) わかりやすい決算書とは

- ✓多くの皆さんに市の決算状況を分かりやすく知っていただきたいという思いから、本冊子を作成しました。
- ✓市の事業は、子どもたちの教育や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着しています。
- ✓この冊子を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対するご理解を深めていただきたいと思います。

(2) 決算と予算の関係

- ✓あらかじめ、どんなお金が入り、どんなことにいくら使うかという計画を立てたものを「予算」といいます。
- ✓計画に対し、実際どれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金を使ったかをまとめたものを「決算」といいます。
- ✓自然災害の発生や経済情勢の変化といった不測の事態が生じた場合などは、途中で計画を変更することがあります。この変更を「補正予算」といい、通常は6月・9月・12月・3月の年4回の市議会定例会のタイミングで行います。

(3) 予算から決算までの流れ



令和5年度に実施した事業について、SDGsの17種類のうち該当する主なゴール(目標)を示しました。

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、平成28年から令和12年までの国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)と169のターゲットから構成され、すべての国において「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す、広範で統合的な取り組みです。

市では、「総合計画(後期基本計画)」や「総合戦略」の中で、SDGsを取り組みの前提事項に位置付けています。

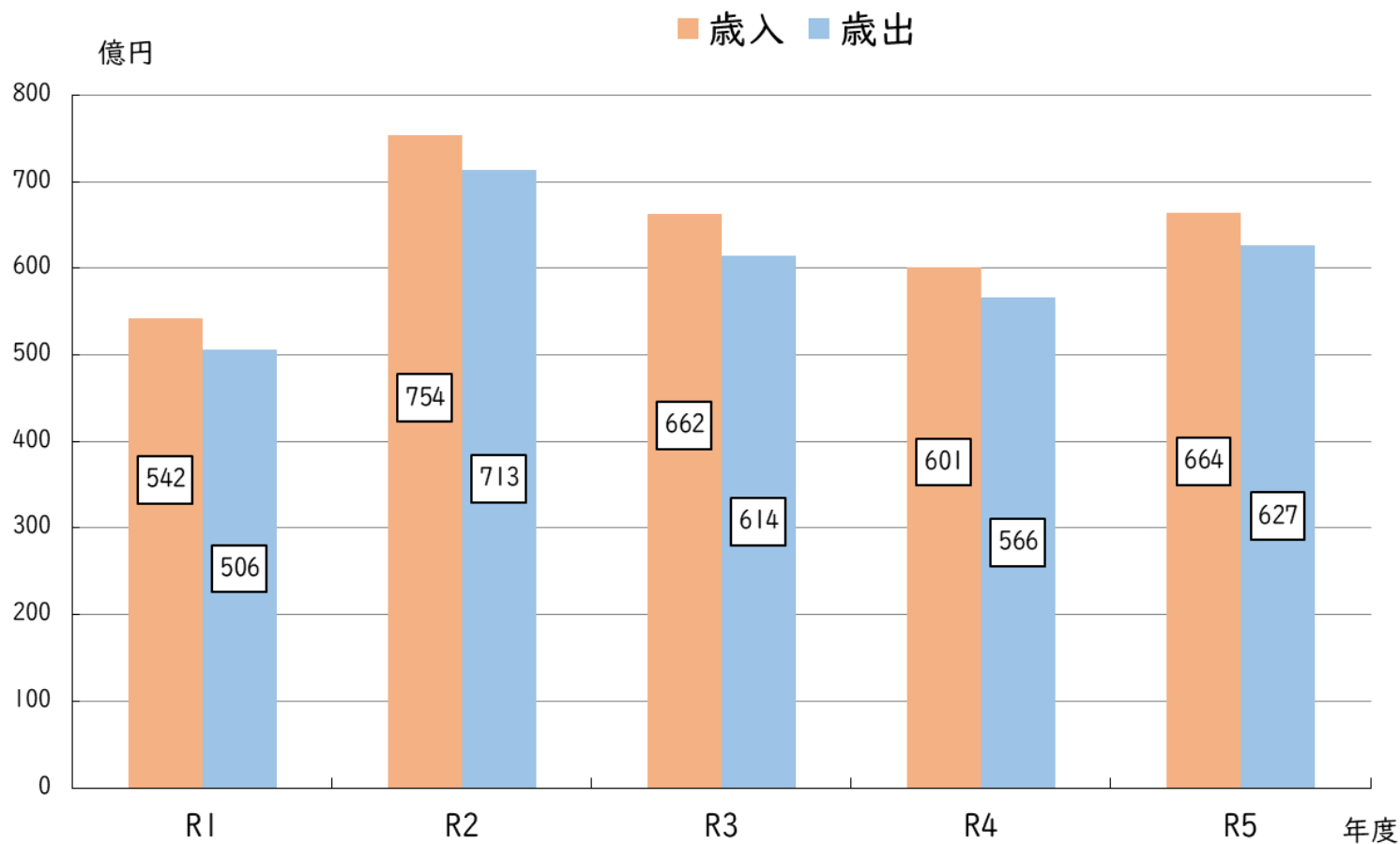
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



どれくらいのお金を扱っているの？【決算規模】

令和5年度の決算では、
入ったお金（歳入）は、664億円、使ったお金（歳出）は、627億円です。
余ったお金の37億円は、次の年度に使います（「繰越金」といいます）。

決算規模の推移

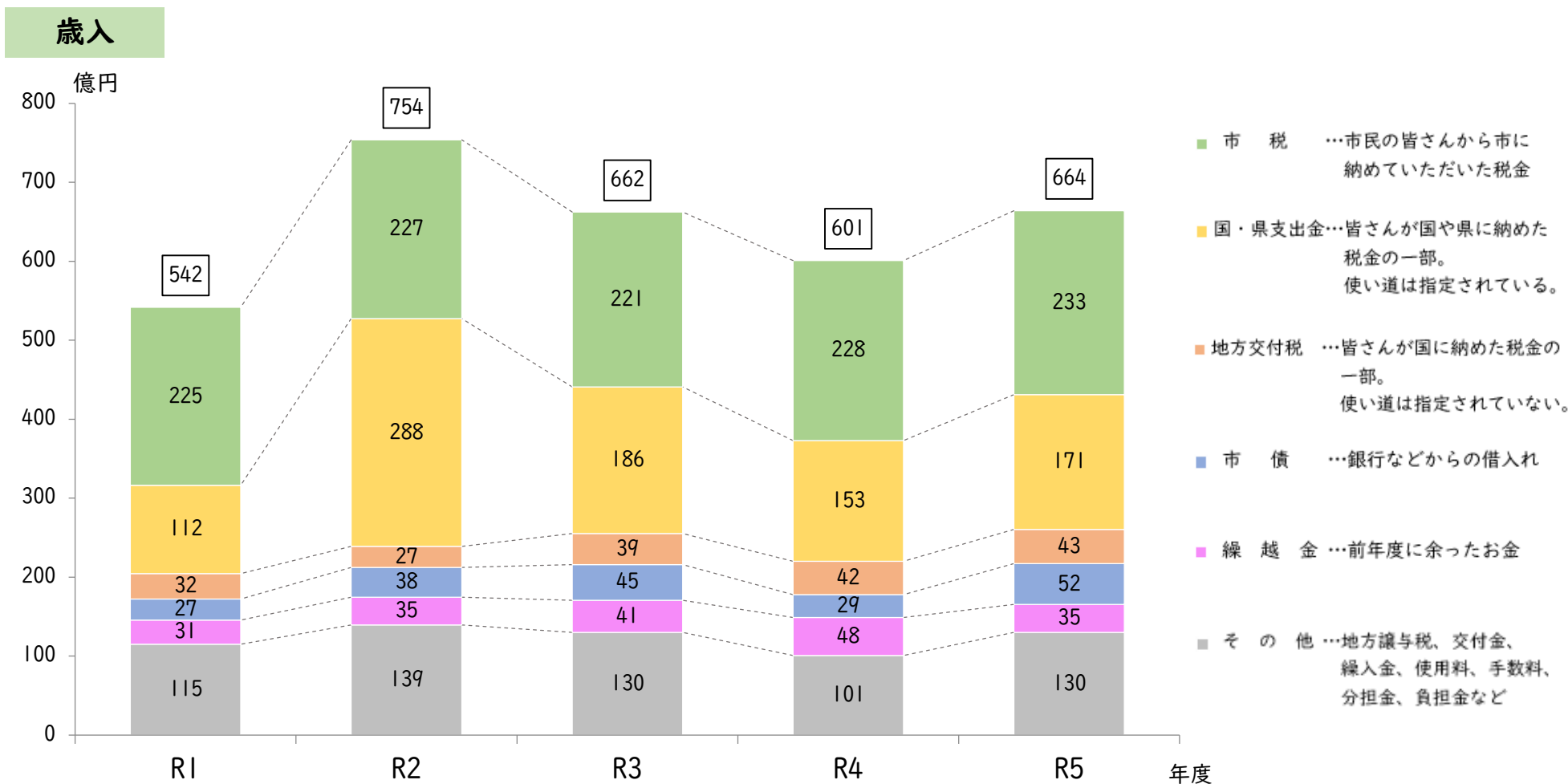


どんなお金が入ってきたの？【歳入内訳】

市に入ってきたお金（歳入）を見てみましょう。

市民や市内に事務所などがある法人などが納める**市税**のほか、**国や県から入ってくるお金**、施設の**利用料**、銀行などからの**借金**、**貯金を取り崩したお金**などがあります。

令和5年度は、北清掃センター基幹的設備改良事業などの実施により、市債が23億円増加しています。



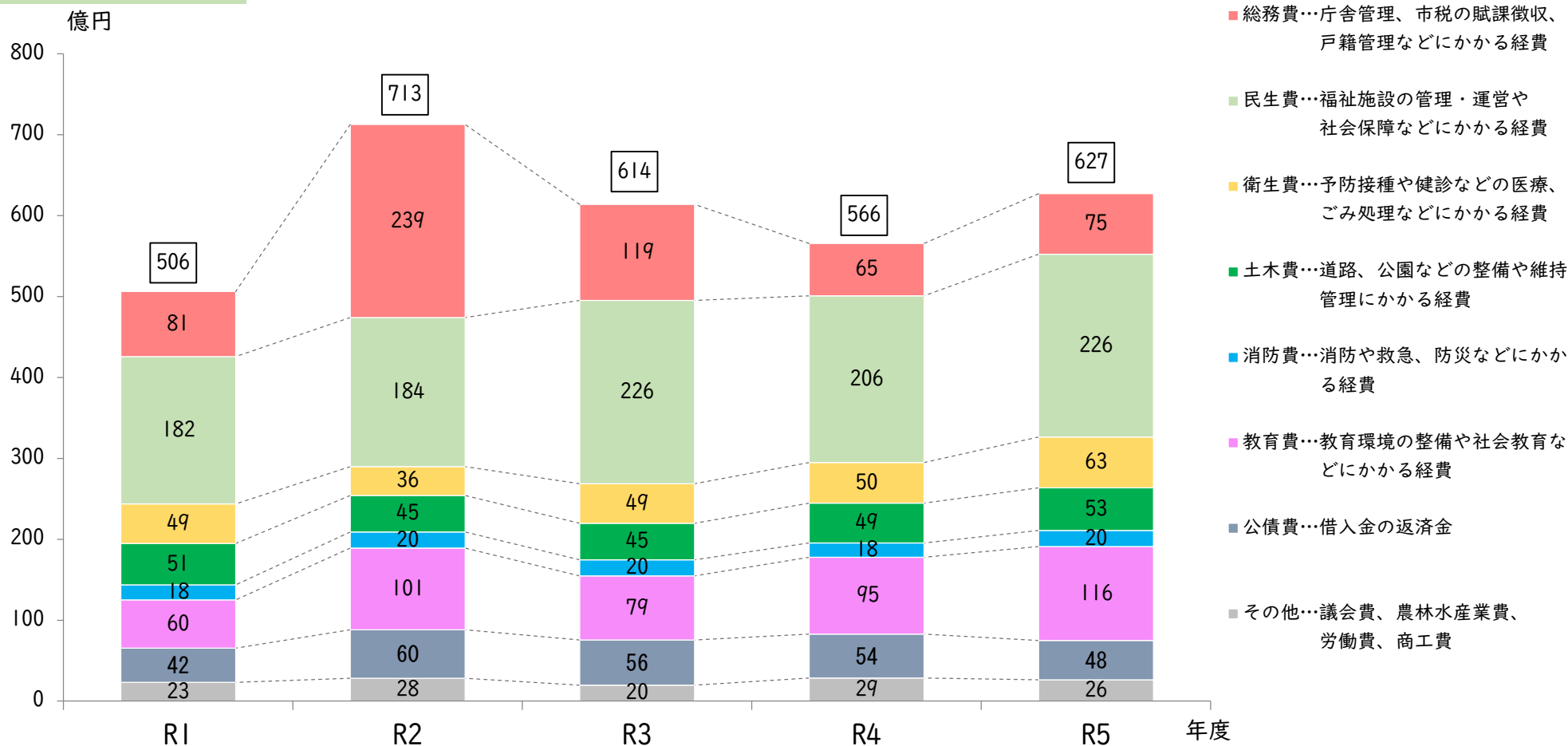
何のためにお金を使ったの？【目的別歳出】

市が使ったお金（歳出）を見てみましょう。

行政目的の視点から「何のために使ったのか」という観点で分類したものが「目的別」という分け方です。

令和5年度は、新特別支援学校整備事業などの実施により、教育費が21億円増加しています。

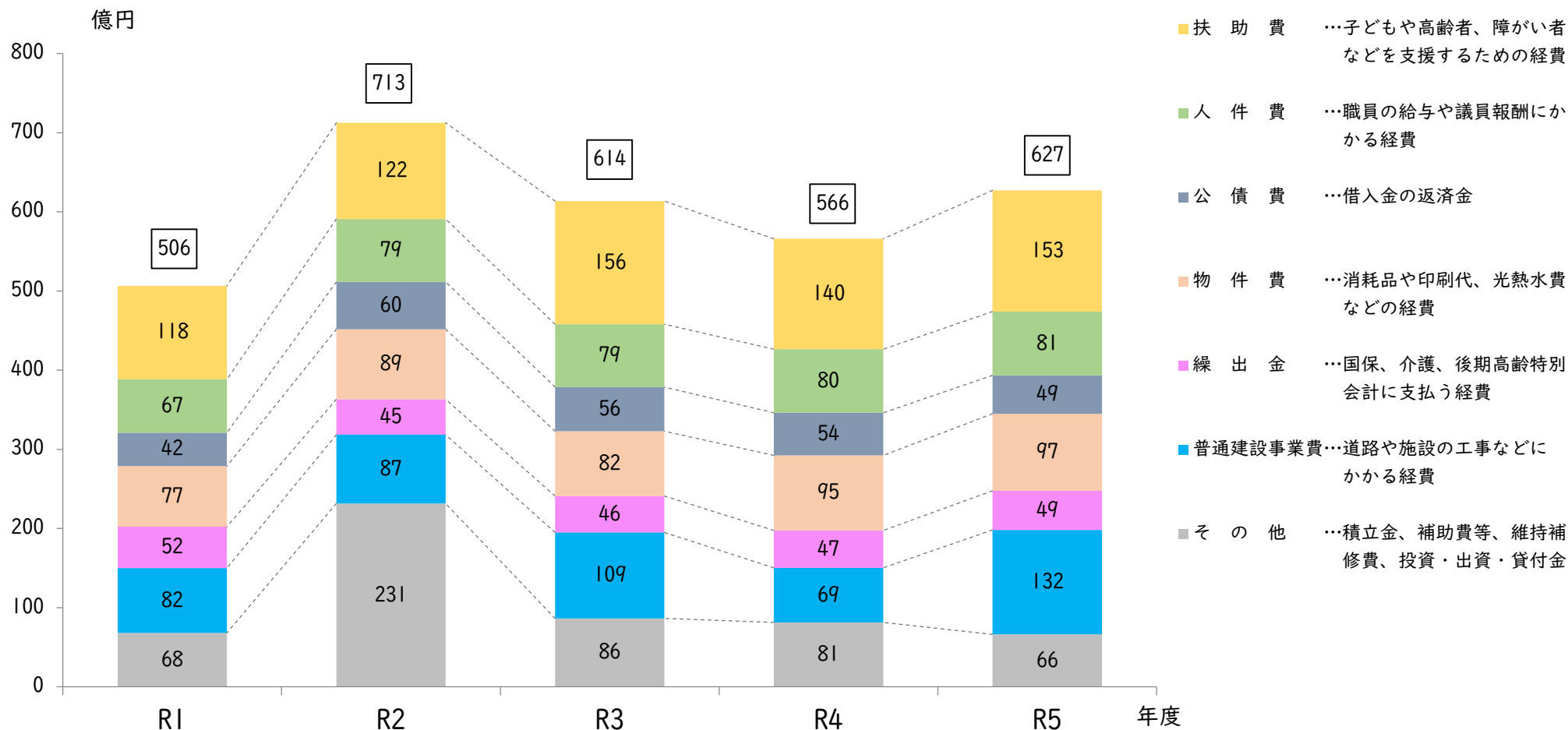
歳出（目的別）



どんなことにお金を使ったの？【性質別歳出】

経済的性質の視点から「どんなことに使ったのか」という観点で分類したものが「性質別」という分け方です。令和5年度は、北清掃センター基幹的設備改良事業や新特別支援学校整備事業などの実施により、普通建設事業費が63億円増加しています。

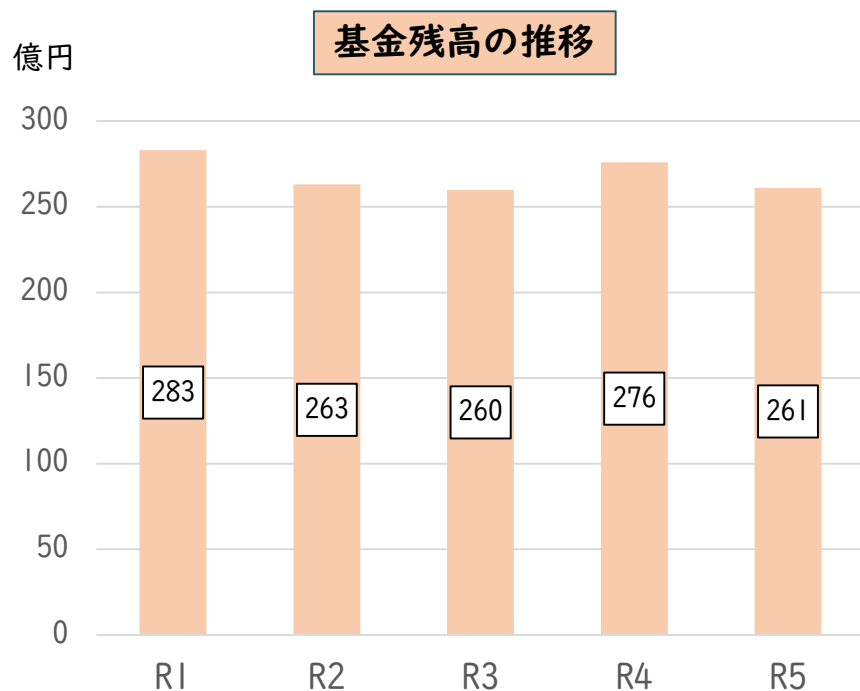
歳出（性質別）



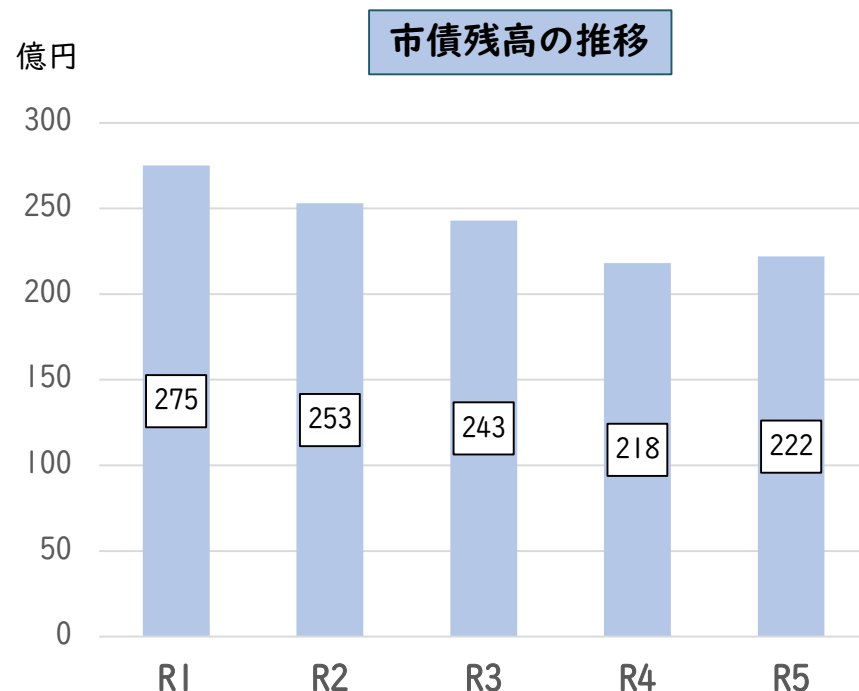
貯金や借金はどれくらいあるの？

【基金・市債残高】

市では、貯金のことを「基金」、借金のことを「市債」と呼んで管理しています。
令和5年度末において、基金残高は、261億円で、令和4年度末と比べ15億円減少しました。
また、市債残高は、222億円で、令和4年度末と比べ4億円増加しました。



基金は、年度間のお金の過不足を調整するもの、借入金の返済に使うもの、学校施設の整備に使うものなど、それぞれの目的ごとに分類し、管理しています。



市債にも種類がありますが、市では将来の実質的な財政負担を軽くするため、その返済に国の支援がある有利なものを活用しています。例えば、将来にわたって使用できる公共施設の整備は、世代間の公平性の観点からも市債を活用しています。

どんなことにお金を 使ったの？もっと詳しく

令和5年度に実施した主な事業について、目的別に紹介します。



新庁舎建設事業



食品ロス削減啓発事業

総務費 管財課

新庁舎建設事業

991,268千円

市民サービスや災害対策の拠点となり、ユニバーサルデザインや環境にも配慮した新庁舎が完成し、令和5年11月に全面オープンしました。



総務費 市民課

おくやみコーナー設置事業

56千円

おくやみに関する多くの手続きをワンストップで行う「おくやみコーナー」を令和5年4月から市民課窓口を設置しました。



民生費 高齢福祉課

ICTを活用したウォーキングフレイル 予防事業

4,825千円

ウォーキングを通じて高齢者のフレイルを予防するとともに、スマートフォンアプリを利用することで、高齢者のICT利活用を促進しました。



民生費 子育て応援課

保護者等のための保育所ICT化事業

13,908千円

保護者の利便性を向上させるとともに、保育業務を効率化し保育の質を高めるため、ICTを活用した登降園の管理や保護者との連絡体制を構築しました。



衛生費 環境政策課

食品ロス削減啓発事業

531千円

食品ロス削減について、10月の「食品ロス削減月間」を中心に啓発活動を行うとともに、食材を無駄なく利用する料理方法を学ぶ教室を開催しました。



衛生費 健康管理課

健康フェスティバル事業

3,500千円

健康づくりの推進、普及啓発を目的として、周知が進んでいない慢性腎臓病（CKD）を主テーマとしたイベントを開催しました。





プレミアム付商品券事業



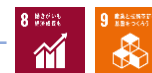
蘇原駅周辺地区都市構造再編集中支援事業

労働費 商工振興課

合同企業説明会開催事業

345千円

人材確保に課題を抱える市内企業を支援するため、ハローワーク岐阜や商工会議所等と連携し、合同企業説明会を開催しました。

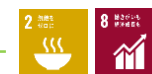


農林水産業費 農政課

スマート農業技術導入支援事業

3,701千円

農業者の経営発展や改善を支援するため、デジタル先端技術を活用した農業用機器や機械等の購入にかかる費用の一部を補助しました。



商工費 商工振興課

プレミアム付商品券事業

773,319千円

原油価格・物価高騰等の影響を受ける市民及び市内事業者を支援するため、全市民を対象に1人1冊購入できる、額面1万円・プレミアム率100%の商品券を販売しました。



商工費 商工振興課

ふれあいバス停留所乗降環境整備事業

13,629千円

那加線の増便による待機車両の混雑を緩和するため、各務原市役所前駅バス停の拡張工事を行い、安全な乗降環境を整備しました。



土木費 都市計画課

蘇原駅周辺地区都市構造再編集中支援事業

178,800千円

蘇原駅の利便性、安全性を向上させるため、駅前広場を整備しました。



土木費 道路課

市道各378号線道路改良事業

156,909千円

各務山で隔てられていた各務地区の利便性向上を図るため、新たな工業団地であるテックフォルテ各務原の造成事業と連携し、おがせ街道から岐阜車体スポーツ広場前の東西道路までを繋ぐ、市道各378号線の道路改良工事を実施しました。





新特別支援学校整備事業



夢チャレンジ事業
(かかみがはら寺子屋事業)

消防費 消防課

耐震性貯水槽設置事業

14,355千円

消火に必要な水を確保できない状況を防ぐため、防火水槽が未設置の区域へ耐震性貯水槽を設置しました。



消防費 消防課

救急安心センター事業（＃7119）

902千円

救急車を呼ぶべきか専門家に相談することができる電話サービス（＃7119）を導入し、救急車の適正利用を促進しました。



教育費 教育施設整備推進室

新特別支援学校整備事業

2,628,942千円

誰もが住み慣れた地域で安心して学べるよう、令和7年4月の開校に向け、知的障がい・肢体不自由・病弱がある児童生徒が小中高一貫で学ぶことのできる「（仮称）かかみがはら支援学校」の整備を着実に進めています。

令和5年度は校舎の建築工事に着手するとともに、外構工事等を実施しました。



教育費 教育施設整備推進室

新総合体育館・総合運動防災公園 整備事業

695,255千円

現在の総合体育館が抱える課題を解決し、スポーツだけでなく、にぎわいや防災の拠点となる、新たな総合体育館と総合運動防災公園を整備します。

令和5年度は、用地取得、造成設計、造成工事を実施するとともに、民間活力導入可能性調査を実施し、事業手法をPFI手法のBTO方式一括払い型に決定しました。



教育費 学校教育課

夢チャレンジ事業 (かかみがはら寺子屋事業)

389千円

児童生徒が将来の夢を思い描き、夢に向かって歩き始めるきっかけづくりのため、市長や企業社長など様々な分野で活躍する講師による講話や体験など、将来について考えるキャリア教育を5コース実施しました。



「ふるさと納税」 の使い道は？

応援メニュー	寄付金額 (千円)
① 教育・文化・スポーツに関すること	56,591
② 環境に関すること	28,760
③ 保健・医療に関すること	17,465
④ 高齢者福祉に関すること	12,592
⑤ 障がい児者福祉に関すること	16,873
⑥ 子ども福祉に関すること	82,482
⑦ 防災・防犯に関すること	8,073
⑧ 基盤整備に関すること	3,777
⑨ 産業振興に関すること	14,361
⑩ 各務原市まらごと応援	195,114
合計	436,088



消防車両更新事業（水槽付消防ポンプ自動車）

令和5年度中にいただいた「ふるさと納税」436,088千円を活用した主な事業を紹介します。

②

リサイクル施設管理費

23,822 千円

循環型社会を推進するために、市内で回収されたペットボトル等の分別、減容、梱包等の作業を行い、再資源化を促進しました。



⑥

こども医療費助成事業

747,728 千円

0歳から中学卒業までの子どもが通院や入院した際にかかる医療費の自己負担額を助成しました。



⑦

消防車両更新事業

68,838 千円

災害時において迅速な出動・確実な稼働ができるよう、緊急査察車2台と水槽付消防ポンプ自動車1台を更新しました。



【参考】ふるさと納税の流入額と流出額の推移



各務原市役所

〒504-8555

岐阜県各務原市那加桜町 1-69

TEL 058-383-1111(代表)

HP www.city.kakamigahara.lg.jp

